



HYC
HJYC

く・る・る マッチレース イン 葉山 2009

Ku Ru Ru Match Race in Hayama 2009

20-22 Mar., 2009

ISAF EVENT GRADING 4

SAILING INSTRUCTIONS (Ver. 1.0)

略語

PC - プロテストコミッティ

RRS - セーリング競技規則

NA - ナショナルオーソリティ

NoR - レース公示

OA - オーガナイズিংオーソリティ (主催団体)

RC - レースコミッティ

SI - 帆走指示書

1. ルール

1.1 本大会には以下のものを適用する。

(a) RRS2009-2012に規定されたルール。付則Cを含む。

(b) ハンドリング・ボーツ §IのアベンディックスC)。これは練習中にも適用される。クラスルールは適用しない。

(c) 各国協会規定は適用しない。

NoRと矛盾が生じた場合、本帆走指示書が優先する。

1.2 削除

1.3 削除

1.4 RRS C8.6として以下を追加する。そのマッチのアンパイアと他のアンパイアの最低1名が、艇がRRS 14に違反して損傷したと判定した場合、審問なしで0.5点のペナルティを課することができる。このペナルティを課せられた競技者は、可能な限りできるだけ早くそのことを通知され、また審問を要求することができる。そのときPCはRRS C6.6に従って進める。その場合には、PCにより決定されるペナルティは0.5点を超えることがある。アンパイアは、0.5点を超えるペナルティが適切であろうと判断した場合、RRS C8.4に従って処理しなければならない。このペナルティはラウンドロビン・ステージでは違反者の減点、ノックアウト・ステージでは違反者の相手方への加点として扱う。」

1.5 削除

1.6 RRS C11.3(a)の最後の文章を以下のものと置き換える。「RCがセイルオフを実施できないと判断した場合、以下のようにしてタイを解く。タイとなった競技者間で、最初のレースを除外した場合のラウンドロビンの得点によって順位を決める。これでタイが解けない場合は次のレースも除外したラウンドロビンの得点で順位を決める。以下、順にタイが解けるまでこれを繰り返す。」

1.7 RRS C11.1の最初の文章を以下のように変更する。ラウンドロビン・シリーズとは、すべての競技者が互いに1回以上帆走することが予定されている競技者のグループ分けをいう。」

1.8 RRS C3.1のスタート信号の表を以下に変更する。

時刻(分)	視覚信号	音響信号	意味
6分前	F旗掲揚	1声	注意信号
5分前	F旗降下および数字旗掲揚*	1声	予告信号
4分前	P旗掲揚	1声	準備信号
2分前	青色旗もしくは黄色旗または両方の旗の掲揚**	1声	スタート前のエントリータイムの終了
0分	予告信号と準備信号降下	1声	スタート信号

注意 *、**印の注記はRRSの通りである。

1.9 リタイア

スキッパーがRCにリタイアを通告し、レース海面に来ないかレース海面を離れたことが明らかの場合、RCはアンパイアと協議の上、そのスキッパーの得点と、対戦相手の得点を1点として、ベアリング・リストを変更することができる。本項はRRS C8.5を変更している。

2. 参加と参加資格

2.1 OAにより招待されたスキッパーのみが、大会に参加する資格がある。招待の基準はレース公示の通りである。参加を認められたスキッパーはSIアペンディックスAに示される。

2.2参加資格を持続するためにスキッパーは、指定された日までに参加料8万円とダメージ・デポジット3万円の支払を完了し、以下の期間中に乗員の登録と計量を完了させなければならない。ただし、OAが延長した場合を除く。

計量 / 3月20日は08:05 ~ 09:00の間。なお、3月20日09:00までに事前申告のあった交代クルーに限り、3月21日および3月22日の07:35から08:00の間にも計量できる。

乗員登録 / 3月20日08:05 ~ 09:00。

2.3 ダメージ・デポジットは、それぞれの事故に対するそれぞれのスキッパーの責任限度額ではない。大会期間中にダメージ・デポ

ジットから差し引きが行われた場合、スキッパーは、参加資格を維持するためにダメージ・デポジットの額を元の金額に戻すことを求められることがある。

2.4 各スキッパーは乗艇したボートのダメージや損2.5 失について責任がある。ただし、OAによって別に責任分担が割り当てられた場合はそれに従う(18項参照)

2.5 マッチの予告信号後、登録されたスキッパーは、緊急の場合を除き、舵を離してはならない。

2.6 登録されたスキッパーが大会を継続できなくなった場合、OAはオリジナル・クルーメンバーを代理として認可することができる。

2.7 登録されたクルーメンバーが大会を継続することができなくなった場合、OAは交代クルー、一時的な交代、またはその他の調整を認可することができる。

3. 競技者との連絡

3.1 競技者への通告は、レース本部付近に設置された公式掲示板に掲示される。

3.2 陸上で発する信号は、音響信号3声とともにレース本部付近に掲示される。

3.3 スキッパーは、OAによって許された場合を除き、3月20日09:00から行われる最初のブリーフィングに参加しなければならない。ブリーフィング会場は葉山港管理事務所内(葉山新港)である。以後行われるブリーフィングはNoRの予定のとおりである。

3.4 アンパイアとの最初のミーティングは、最初のブリーフィングに引き続いて行われる。

3.5 削除

3.6 削除

4. 帆走指示書の変更

4.1 陸上で行われるSIの変更は、影響を及ぼすレースの最低60分前に掲示され、RCとPCの代表者により署名される。

4.2 削除

4.3 海上で変更が行われたときは、音響信号3声とともに第3代表旗を掲揚することによって信号が発せられる。アンパイアは、口頭か書面のいずれかでこのことを伝達することができる。

5. ボートとセイル

5.1

(a) 本大会は、ヤマハ30Sクラスのボートで帆走される。

(b) 使用すべきセイルはRCにより割り当てられる。

(c) 競技者は、シリーズ中に、スポンサーの要請を満足するためにセイルを交換することを要請されることがある。このことは救済の要求の対象とはならない。これはRRS62の変更である。

5.2 用いなければならないセイルの組み合わせは、注意信号の1分以上前に、RCボートのパウから信号が発せられる。信号は次のことを意味するものとする(連続音響信号を伴う)。

信号	用いなければならないセイルの組み合わせ
オレンジ旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者はスピネーカーを用いてはならない。スピンプールの使用も禁止する。
黒色旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者は、メインセイルをワンポイント・リーフしなければならない。

5.3 その他の制限または指示は、艇に対してアンパイアから口頭でなされることがある。第3代表旗は必要としない。

5.4 削除

5.5 削除

6 艇の識別と割り当て

6.1 艇は、各艇に記載されたボートナンバーにより識別される。

6.2 メインセイルには、OAにより提供された文字を表示することを求められることがある。

6.2 艇は原則として各ステージごと、および各日ごとに抽選によって割り当てられる。再抽選はRCの決定に従って行われる。

6.4 艇はペアリング・リストに従って交換される。

7 クルー・メンバー、人数と体重

7.1 1チームの乗艇できるクルーの合計体重は350kg以下でなければならない。体重測定は少なくともショーツ (パンツ) とシャツを着用した状態で行う。この計量はOAによって指定された計量期間に行い、計測は機器の誤差を考慮して各自の表示体重より0.2kgを差し引いた数値を公式体重とする。

7.2 乗員の人数制限は最大6名である。7.1の制限体重内であればクルーは交代してもかまわない。ただし、第2レース以降のクルーの人数は第1レースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。また、クルーを交代する際は事前にRCの了解を得なければならず、交代に要する時間はスタート延期の要求の対象とはならない。

7.3 乗員の内少なくとも1名は旧5級小型船舶操縦士または新2級小型船舶操縦士 (5トン限定)以上の免許を所持しており、海上に出るときは常時携帯していなければならない

7.4 満20歳に満たない未成年および学生が本大会に参加する場合、大会受付時に保護者の同意書 (別紙) を提出しなければならない。

8 イベント・フォーマットとスタートのスケジュール

8.1 イベントフォーマットはSIのアペンディックスBに記される。フライトで帆走するマッチはRCボートよりスタートする順に示される。

8.2 削除

8.3 レース日は3月20日から3月22日まで予定されている。

8.4 削除

8.5 それぞれの日にレースをするマッチの数は、RCの決定による。

8.6 (a) RCは、現在の状況または予定されている残りの時間ではマッチの残りを続けようとするのが実行不可能であると判断した場合、ステージまたは大会を終了することができる。初期のステージは、その後のステージを行うために終了することがある。

(b) RRS C10.3(b)に以下を追加する。

「1回のラウンドロビンが完了する前に終了した場合、または複数のラウンドロビンが最初のラウンドロビンの最中に終了した場合、最高得点はそれぞれの競技者と帆走したマッチにつき平均の得点を得たとして決定されるものとする。ただし、1名またはそれ以上の競技者が予定されたマッチの1/3未満しか完了しない場合を除く。その場合、全体のラウンドロビンが無視されなければならない、必要な場合には大会が無効と宣言される。」

8.7 各レース日の最初の注意信号発令予定時刻は、3月20日は10:30、3月20日および21日は08:30である。

8.8引き続き行われるそれぞれのフライトは、実行可能な限り速やかに前のフライトに引き続いて開始される。これは、前のフライトの最終マッチがフィニッシュすることを必ずしも要しない。

8.9 あるマッチが予定された時刻にスタートできない場合、次のマッチの信号とスタートは元の予定のままとし、スタートしないペアは

空白のスタートのままとする。スタート・シークエンスの旗は、空白のスタートに対しては掲揚されない。

8.10 ノックアウト・シリーズで、あるシリーズの勝者が決定された場合、引き続き行われるスタートは、空白のスタートをなくすために前に持ってくるものとする。競技者には、アンパイアより口頭でそのことを伝える。

9 レース海面

レース海面は葉山マリーナの沖合いである。

10 コース

10.1 (a) **コースの形状** (縮尺どおりではない)

マークW

マークL

(スタートフィニッシュ・ライン)

ピンエンド・マーク

RCボート

(b) **コース信号と帆走すべきコース**

コース信号は予告信号と同時またはその前にRCボートのバウに掲揚される。マークWとLは、スターボード(右)回航しなければならない。

信号	コース
信号なし	スタート - W - L - W - フィニッシュ
S旗	スタート - W - フィニッシュ

(c) **マークの説明**

RCボートはメインマストにJYMAの旗を掲げたボートである。なおJSAF環境キャンペーン旗を同時に掲揚することがある。ピンエンド・マーク、マークWおよびL、置き換えマークの色と形状は最初の艇長会議時に説明される。

10.2 **スタートフィニッシング・ライン**

- (a) スタートフィニッシング・ラインは、スタートフィニッシュ・マーク(ピンエンド・マーク)のコースサイドと、RCボート上メインマストのコースサイドとの間の直線である。
- (b) RCボートには、ラインでつないだブイを取り付けることがある。艇は、常にこのブイとRCボートとの間を通過してはならない。このブイは、RCボートのグラウンド・テークルの一部である。

10.3 **コースの制限**

- (a) レース海面は、航行禁止の区域をブイによって規制することがある。航行禁止区域が設定される場合は艇長会議で説明するか、各スキッパー宛に文書で発表される。図はアペンディックスEとして扱う。
- (b) 本項の違反は艇による抗議の対象とはならないが、RRS C8.2に従ってアンパイアによる処置に属する(これはRRS C6.2とC8.2を変更している)。
- (c) 航行禁止区域を示すラインは障害物と位置付け、RRS第2章での安全操舵の限界となる。
- (d) 航行禁止区域を示すブイや物体への接触に対するペナルティはない。

10.4 削除

10.5 中止と短縮

- (a) RRS32を削除して、以下の文と置き換える。「(b) RCは、スタート信号後、何らかの理由のために、実施できる場合はそのマッチのアンパイアと協議後、マッチの中止またはコースの短縮をすることができる。」(c)
- (d) スタート信号後、レースの中止が決定された場合、RCボートから音響信号3声とともにN旗を掲揚する。数字旗とともにN旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチのみが中止されるものとする。(レース信号の変更)
- (e) スタート信号後、コースを短縮するときは、最初の上マーク付近にいるマークボートから音響信号2声とともにS旗を掲揚する。この場合、各艇はSI 10.1(b)でS旗が掲揚された場合と同 (f) じコースを帆走しなければならない。数字旗とともにS旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチ以降、同 (g) じフライトのすべてのマッチにこの項が適用されるものとする。(レース信号の変更)

11 損傷と修理のための時間

11.1 フライトの注意信号の前、またはフィニッシュ後の2分以内、または新しい艇に乗り替わった後の5分以内のいずれか遅い方までに、艇は、艇体やセイルの破損または損傷あるいは乗員の負傷を知らせるピンク旗を掲げ、次のスタートを遅らせるように求めることができる。その艇は、できるだけ早くRCもしくはアンパイアに状況を報告し、RCボートの風下に近づけて進み、そこにとどまらなければならない。ただし、別の指示がある場合を除く。

11.2 修理に許される時間は、RCの裁量とする。

11.3 フライトの注意信号発令後は、破損のためにマッチを延期または中止しない。ただし、SI 11.1に定められているとおりに破損信号が掲げられた場合を除く。

11.4 RRS 62.1(b)が適用されている場合を除き、修理ができないことまたは注意信号後の破損11.5 は、救済の理由とはならない。この項はRRS 62を変更している。

12 削除

13 風上マークの位置の変更

13.1 コースの変更は、置き換えマークWを設置することにより行う。

13.2 引き続き行う変更は、元のマークへ戻す。

13.3 コース変更の信号 (RRS33とレース信号の変更)

- (a) C旗と赤または緑の旗は以下のことを意味する。「(b) 風上マークは置き換えられた。赤色の旗は元に位置よりポート側に、緑色の旗は元の位置よりスターボード側に置き換えられたことを示す」(c) 。反復音響信号を伴う。
- (d) スタート後のコース変更を特定のマッチにのみ適用する場合、そのマッチに該当する数字旗により指 (e) 示するものとする。

13.4 信号船

- (a) 最初のレグでコースの変更を行う場合、信号は適用されるそれぞれのマッチの準備信号とともにRCボート上で掲揚される。準備信号は、一連の反復音響信号を伴うものとする。この信号はスタート信号とともに降下する。
- (b) 最初のレグの後にコース変更の信号を発する場合、マーク付近にいるボートあるいはRCボートから掲揚するものとする。この信号はマッチの両艇がマークを回航後適当な時期に降下される。

14 タイム・リミット

相手艇がコースを完了しフィニッシュした後、5分以内にフィニッシュしない艇はDNFと記録される。この項はRRS 35およびA5を変更している。

15 削除

16 メディア、映像および音響

- (a) OAIはいつでも、メディアの人員と機材(またはダミー)を積み込むことを求めることができ、また競技者にインタビューに答えるこ

とを求めることができる。

- (b) レースをしない人員と機材の位置はRCによって決定され、口頭によってアドバイスされることがある。
- (c) OAは、大会期間中に採集された肖像を含む映像と音響を無料で使用する権利を有するものとする。
- (d) クルーメンバー（スキッパーを含む）は、オーディオマイクを身につけることを求められることがある。

17 賞

1位から3位のスキッパーにはJYMA賞が贈られる。

- 17 09年コリアン・マッチアジア予選への招待状がJYMAへ来た場合、JYMAは本大会の上位者より推薦するものとする。
- 18 イベント初日が09年7月5日までの海外のマッチレースについて、そのイベントのOAからJYMAへ招待があった場合、JYMAは本大会の上位者より推薦するものとする。

18 行動基準とダメージの取り扱い基準

18.1 行動基準

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力、およびRCへの手伝いを含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない、また大会の名(b) 譽を傷つけるような行動をしてはならない。
- (c) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIアペンディックスCとDに従わなければならない。
- (d) OAは海上においては救命胴衣の着用を強く推奨するが、RCが特に命じるとき以外、救命胴衣を着用するか否かの最終判断は各艇によるものとする。
- (e) 本項に対する違反のペナルティは、PCの裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、デポジットの保留を含めることができる。

18.2 ダメージの取り扱い基準

18.2.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージ・デポジットより差し引かれる。

- (a) ウンチハンドル 15,000円/1本
- (b) 抗議旗 (Y旗) 5,000円/1本
- (c) その他の旗 (識別旗、B旗 損(d) 傷旗) :各3,000円/1枚

18.2.2 使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は450,000円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。

18.2.3 帆走指示書アペンディックスC (ハンドリング オブ ボーツ)に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。全額当事者の負担とする。

18.2.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする。この金額はダメージ・デポジットから優先して差し引かれるが、不足額があれば後日OAが請求する。その金額は事故の性質により免責額の450,000円を超えることもある。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合、OAはPCのアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。

- (a) 権利艇・非権利艇が特定できる場合 :権利艇20% :非権利艇80%
- (b) 権利艇・非権利艇が特定できない場合 :当事者間で均等割りとする

18.2.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後30分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

18.2.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、PCと協議の上、RCはダメージの修理が完了するまでの間そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

19 否認

大会に参加するすべての者は、自己のリスクで参加している。OA、その提携者および任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、

損傷、負傷または被った不都合に対する責任を否認する。

発行日 :2009年3月16日
帆走指示書 Version 1.0

SI APPENDIX A - LIST OF ELIGIBLE SKIPPERS

SI アペンディックスA 参加資格のあるスキッパー

Name of skipper スキッパー氏名	Name of Team チーム名称	JYMA Ranking 1 Feb., 2009
本吉 夏樹 Natsuki Motoyoshi		2
長堀 裕樹 Yuki Nagahori		5
山田 寛 Kan Yamada		6
浜崎 栄一郎 Eiichiro Hamasaki		8
村越 俊介 Shunsuke Murakoshi		11
荒川 海彦 Umihiko Arakawa		13
荒川 友紀彦 Yukihiro Arakawa		14
松永鉄也 Tetuya Matunaga		NO

SI APPENDIX B - EVENT FORMAT and SCHEDULE OF EVENT

SI アペンディックスB イベント・フォーマット & 大会スケジュール イベント・フォーマット

1. 予選ステージ (ラウンドロビン)

- 各スキッパーは互いに1回ずつ対戦する。
- 予選ステージ上位6名c. のスキッパーは本戦ステージに進む。
- 予選ステージ7, 8位のスキッパーはファイナルステージの7-8位決定戦に進む。

2. 本戦ステージ (ラウンドロビン)

- 予選ステージ上位6名b. のスキッパーは互いに1回ずつ対戦する。
- 本戦ステージ上位4名d. のスキッパーはセミ・ファイナル・ステージに進む。
- 本戦ステージ5, 6位のスキッパーはそれぞれ最終成績5, 6位となる。

3. セミファイナルステージ (ノックアウト)

- 本戦ステージ7位のスキッパーは他の3名b. のスキッパーから対戦相手を指c. 名d. する。
- 指f. 名g. されなかったスキッパーは互いに対戦する。
- どちらの対戦も点を先取した方が勝ちとなり、勝者はファイナルステージ2位決定戦に進む。
- 負けたスキッパーはファイナルステージ3-4位決定戦に進む。

4. ファイナルステージ (ノックアウト)

(7-8位決定戦)

予選ステージ7, 8位のスキッパーが互いに対戦する。2点を先取したスキッパーが勝ちとなり、最終成績7位となる。負けたスキッパーは最終成績8位となる。

(3-4位決定戦)

セミ・ファイナル・ステージで負けたスキッパーが互いに対戦する。2点を先取したスキッパーが勝ちとなり、最終成績3位となる。

負けたスキッパーは最終成績4位となる。

(1-2位決定戦)

セミ・ファイナルステージで買ったスキッパーが互いに対戦する。2点を先取したスキッパーが勝ちとなり、最終成績1位となる。負けたスキッパーは最終成績2位となる。

ベアリング・リストは最初の艇長会議時に配布される。

大会スケジュール

3月20日(金・祝) 準備・レース日(1日目)

- 08:00 レース本部オープン
- 08:05 - 09:00 受付/体重計測
- 09:00 - 09:40 艇長会議/最初のアンパイア・ブリーフィング
- 10:00 レース艇ドックアウト
- 10:30 最初のマッチの注意信号発令
- 17:00 - 17:40 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、翌日分の艇長会議
- 18:00 レース本部クローズ

3月21日(土) レース日(2日目)

- 07:30 レース本部オープン
- 07:35 - 08:00 交代クルーのための受付と体重測定 (3月20日の受付時間内に事前申告のあったチームに限る)
- 07:35 - 07:45 艇長会議
- 08:00 レース艇ドックアウト
- 08:30 最初のマッチの注意信号発令
- 17:00 - 17:40 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング、翌日分の艇長会議
- 18:00 レース本部クローズ
- 18:30 - 20:30 レセプション

3月22日(日) レース日(最終日)/葉山みなとまつり2009-葉山く・る・る

- 07:30 レース本部オープン
- 07:35 - 08:00 交代クルーのための受付と体重測定 (3月20日の受付時間内に事前申告のあったチームに限る)
- 07:35 - 07:45 艇長会議
- 08:00 レース艇ドックアウト
- 08:30 最初のマッチの注意信号発令
- 14:00 - 14:30 表彰式(く・る・る まつりフィナーレにて表彰式) **参加者全員の出席義務とする**
- 14:30 - 16:00 片付け
- 16:30 片付け終了後レース本部集合 後 解散

SI APPENDIX C - HANDLING BOATS

SIアベンディックスC ハンドリング・ボーツ (艇の取り扱い)

1 全般 艇をイコライズ (対等にする) するための適切な過程が踏まれている限り、艇のヴァリエーション (違い) は救済の理由とはならない。この項はRRS 62を変更している。
2 禁止されるアイテム (品目) と行為
2.1 緊急時または損傷や負傷を予防するため、あるいはアンパイアが指示した場合を除き、以下の項目は禁止される。
2.1.1 提供された装備に何かを付け加えたり、省略したり、あるいは変更を施すこと。
2.1.2 当初意図された目的、または特に認められた目的以外に装備を使用すること。
2.1.3 RCの許可を得ずに装備を交換すること。
2.1.4 損傷を引き起こす恐れがあることが明らかであるようなセリング方法をとること。
2.1.6 それ自体を使用している場合を除き、通常の保管位置から装備を移動すること。
2.1.7 前もって許可を受けずに艇に乗り込むこと。
2.1.8 必要とされるダメージ・デポジットなしで、あるいはRCの許可なしで、またレース日においては 2.1.9 AP 2.1.10 旗が陸上で掲揚されている間に、停係泊場所から艇を受け取ること。
2.1.11 艇を上架したり、喫水線以下を清掃すること。
2.1.12 削除
2.1.13 スピネーカーの帆布にラインを取り付けること。
2.1.14 たとえテルテールを取り付けるためであっても、セイルに穴を開けること。
2.1.15 無線交信機 (携帯電話を含む) を使用すること。ただし、損傷の報告、RCの要請に対して返信する場合を除く。
2.1.16 傷の報告、RCの要請に対して返信する場合を除く。
2.1.17 バックステイ以外のスタンディング・リギンのテンションを調整すること。
2.1.18 メインシート、バックステイ、またはヴァングの調整にウインチを用いること。
2.1.19 削除
2.1.20 リーフ・ラインをアウトホールとして使用すること。
2.1.21 フォア・セイルのシートを交差してウインチングすること。
2.1.22 ウインチにシートを取る前に、ヘッドセイル・カーやターニング・ブロックを通す事を省くこと。
2.1.23 コンパス、タイマー、時計以外の電子機器を使用すること。
2.1.24 削除

2.1.25	ハル及びデッキにパーマネント・インクで直接マーキングすること。
2.1.26	スタート信号後、クローズホールドで数秒以上帆走しているとき、以下の手段以外でメインブームをコントロールすること。 メイン・トラベラー、メインシートのテークル・エンド（メイン・トラベラーの最終ブロックから出ているメインシート）、およびブームヴァング。
2.1.27	タッキング、ジャイピングまたはバウダウン時の艇の動きを促進させるために、シュラウド（すべてのインナー・シュラウドも含む）のロワー・ボトル・スクリュー（タンバックル）より上部をつかむこと。
2.1.28	メインシートのテークル数を変更してセットすること。
2.1.29	ジブシートを1本しか使わず、エンドレスでシーティングすること。
2.2	SI C2.1.22または2.1.23の違反は、艇による抗議の対象とはならない。RRS C8.2に従ってアンパイアによる処置に属する。（この項はRRS C6.2とC8.2を変更している。）
3	容認されるアイテム（品目）と行為 以下の項目は許される。
3.1	以下の装備を積み込むこと。 (a) 基本的な手動工具 (b) 粘着テープ (c) ライン（直径4mm以下の弾性のあるものまたはそれ以外のもの） (d) マーキング・ペン (e) テルテール用の素材 (f) 時計、タイマー、ハンドヘルド・コンパス (g) シャックル、クレビス・ピン、リングピン、割ピン (h) ベルクロー・テープ (i) ポースンチェア (j) セイル・リペア・キット (k) 予備の8インチ・ウインチハンドル（最大2本まで） (l) 予備の信号旗 (m) 船底に引っかかった藻やごみを取るための道具。この道具は4m以内のロッド、あるいはそのロッドに4m以内のロープを組み合わせたものに限る。この道具はその目的以外に使用してはならない。
3.1	以下のために3.1の装備を用いること。 (a) ライン、セイル、シートの汚れの予防。 (b) テルテールの取り付け。 (c) セイルの損傷または艇外への落下の防止。 (e) セッティングをコントロールするためのマーキング。 (f) 小補修の実施。
3.2	スピネーカー・シート・キャッチャーの固定。ただし、艇長より100mm以上伸ばさないこと。また、除去後の修理を必要としないこと
3.4	削除
3.5	いかなる方法でも変形しないこと、そしていかなる荷重によってもダメージを引き起こさないことを条件に、ハイキングを助けるために以下のアイテムを用いることは許される。 (a) ワーキングシート (b) スタンディング・リギン（SIで明確に禁止されていることを除く）

(c) 固定された装備
4 義務であるアイテム (品目) と行為 以下の項目は義務である。
4.1 たとえダメージがなく、すでにロスが記録されている場合でも、毎レース日、艇を離れる前に書面によるコンディション・レポートをRCに提出しなければならない。レポートにはダメージの原因であつたであろう点や今後のマッチに及ぼすであろう影響も含めなければならない。他艇との接触によるダメージがあつた場合は、コンディション・レポートの他に、SI 18.2 項の要請によるダメージ・レポートを提出しなければならない。
4.2 各レース日の終わりに、 (a) ダメージがなければ、セイルをバッグに入れキャビン内に収納(b) すること。 (c) その日最初に艇に乗り込んだときと同(d) 様にきれいに清掃して艇を離れること。 (e) バックスティのテンションを緩めること。 (f) バッテリー・スイッチをOFFにすること。 (g) チェックリスト (アベンディックスD) に従って備品をチェックすること。
4.3 レース最終日には指定された艇を清掃し (デッキ、キャビン、ハルともに)、すべてのゴミ、テープ、マークを除去すること。その他、艇の後片付けについてRCの指示に従うこと。また、アベンディックスDに従って備品をチェックすること。
4.4 いかなるやり方でも艇の装備の変更要求は書面で行い、文面はYES/NOで簡潔に回答できる文章でなければならない。
4.5 停泊 係留場所とレース海面の往復時には、速度制限や航海標識を含む法令に従うこと。
4.6 レース中、エンジン ギア・レバーは後進の位置に入れておき、バッテリー・スイッチをOFFにすること。
4.7 レース中、メインセイルのリーフ・ロープはプリセットしておくこと。
4.8 本項の4.2と4.3の違反は損傷とみなされ、調整の費用はダメージ・デポジットから差し引かれる。
4.9黄色と青色の識別旗は、RCが視認しやすいようにできるだけバックスティの上部に取り付けること。

SI APPENDIX D- Check List of Race Boat

SIアベンディックスD レース艇のチェックリスト

レース・ボートのチェック・リストは最初の艇長会議時に配布される艇の鍵に付属しているチェックリストをもってこれに代える。